

<平成24年7月>

# 三鷹市議会議員 渥美 典尚 あつみのりひさNEWS



三鷹市議会議員  
あつみのりひさ  
渥美 典尚



連絡先：〒181-0004 三鷹市新川4-24-7 あつみのりひさ と歩む会  
電話：0422-48-6338 FAX：0422-48-6338  
HP「あつみのりひさ」と検索！ atsuminorihisa@gmail.com

6月7日から6月27日まで平成24年  
第2回定例会(6月議会)が開催されました。

今回の議会での大きな議案としては「資源物の持ち去り行為防止・三鷹市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部改正」がありました。

これは、市民が三鷹市の回収のために出した古紙、空き缶、空き瓶といった市が売却可能な資源物を、回収場所から他者が持ち去ることを禁じる条例です。他の自治体でも同様の条例はあり、参考にされました。

詳細は、広報みたか、みたか議会だより、市議会ホームページなどをご覧ください。

## ◆平成24年第2回定例会にて 市政に関する一般質問をしました。

◆三鷹市議会6月議会にて、市政に関する一般質問を行いました。これで渥美典尚の一般質問回数は連続計21回となりました

### 三鷹市におけるキャリア教育について

文部科学省は、キャリア教育を「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」と定義しています。

上級のな仕事に就くための教育、エリートを育てるための教育などと解釈している傾向もありますが、そうではなく、キャリアとは

人が生きていくなかで担っていく様々な役割・仕事などの足跡のことを言います。自分という軸に「働くこと」「生きること」「学ぶこと」をつないで、社会に向けて主体的に進んでいけるようにすること、つまり、自分の生きていく道を、発達段階に応じて考えていけるようにする教育がキャリア教育だと考えます。

学校教育において広範に解釈すれば、すべての授業、科目、活動がキャリア教育に位置づけられることと思いますが、個別に何が大切であるかを考察すべきと考え、市の考えを聞きました。

市は、「キャリア・アントレプレナーシップ教育」として小・中一貫教育の中で三鷹らしい教育の一つと位置付け実行している。子どもたちが自分らしい生き方を切り開いていけるような教育の推進に努め、また、再チャレンジを含め、子どもたちが自分の生き方や生活に夢や希望を持つことができるような教育が重要だと考えている、と答弁されました。

三鷹の教育、日本の教育がますます発展的な素晴らしいものになるようこれからも尽力してまいります。



手作り・簡易印刷の活動報告です。印刷の品質はご容赦ください。

## 東日本大震災 津波と原発の被災地

### 宮城県沿岸と福島県南相馬市に視察

知人 K さんのお誘いを受け、7月14～15日の二日間、東北の視察に行ってきました。

K さんは陸前高田や気仙沼で育ち、また、先輩 M さんが南相馬市で稲作を営んでいたということで、津波被災地と原発被害地との双方に詳しく、案内していただきました。

宮城の津波被災地には昨年の夏にも訪れましたが、福島は今回が初めてです。原発事故による制限地区のことはあまり報道されませんから、実際に見たいと思っていました。

ここでは南相馬小高区の様子を紹介します。

南相馬市小高区も津波被害があった地域ですが、津波被害がなかった場所は建物がそのまま無人のまちなっています。

◆.....◆



無人の街となった小高駅周辺。建物はほぼそのまま人だけが居ない街です。住民の出入りは昼間だけ許可されており、宿泊は許可されていません。 高校の看板も無残。



古い家屋が地震の際に倒壊。道路にはみでている部分は撤去すらされていません。



M さんの田んぼ周辺。干拓地だった田は津波で浸水。がれきの撤去もまったく行われず。



TV 番組で人気だった DASH 村がある浪江町のこの入り口は閉鎖されたままでした。

M さん曰く「多くの人に現実を観てほしい。と同時に現状を忘れないで欲しい」とのこと。

マスコミの継続した報道が望まれます。

我々もずっと注視し続けなくてはなりません。